丘友會会報

発行　亀山市本町校内
亀山高丘友会
丘井俊乗
臼渡今村覚
編集　亀山市本町校内
印刷　(有)一誠堂印刷所

亀高の現状

学校長　佐藤孔久

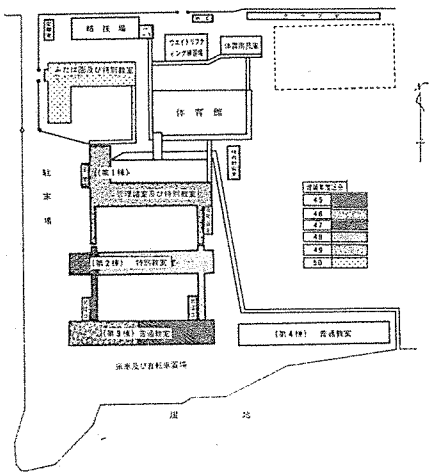
丘友会の皆様、御機嫌よくお過しのことと拝察いたします。昨年八月の総会では、御出席の皆さまとおちかずきの機会を得ました。建築の募金のこと、名簿の作成のことなど、心からの御協力に感謝いたしたことでした。今年も総会の日が近くめぐって参ります。お蔭様でだんだんと整備されつつある学習環境の現状も御覧いただければ幸いと存じます。是非御出席下さいまして、過去と未来とを語る一日にしていただけたらとお願い申上げます。

皆さまの絶大なる御援助を背景に去る三月末理科棟が完成しました。一昨年の商業理科棟から新理科棟への移転と授業開始、生徒の嬉々とした姿を見るにつけ、本校前校長先生、一月急逝の中島前PTA会長さんのお姿を思いうかべます。同窓会長さん、役員の方々を中心としての丘友会の皆様の心からの募金、有難う御座いました。もっともっと立派な学校への努力を、この学校を母校とされる皆様の御期待に副うためにも、現に豚を挙げる我共一同、心して励みたいと考えております。

八月には全国高校総合体育大会が開催されます。亀高もウエイトリフティング（重量挙）の会場になります。亀山市、職員生徒をあげて、全国各地からの選手諸君を迎える準備を続けております。全国大会に参加すること自体なかなか難しいというのに、参加し、会場となって、全く夢のような思いにとらわれます。他の会場に参加するもの、ソフト、山岳、剣道、その他バレーをはじめとする各クラブの活動もめざましく、文化クラブも放送部による全国大会出場決定など輝しいニュースでした。郷土誌「鈴鹿」の発行も四十号を数え、全国高校の中でも珍しい存在として、その努力の累積が高く評価されています。悲しむべきは中井弘先生の急逝、全校をあげての追悼の中に、過日より遺児育英資金の募金をとりくみはじめました。

鈴鹿高女の建物は遂に姿を消しました。高校開校当時の建物は幸うして一部を残しております。しかしそれにかわる新しい殿堂が、でも隣接寺山そのものは昔のままですし、鈴鹿高女、亀高の伝統は今も脈うっております。ふたば園では七十人のチビッ子がかけ廻っています。総体開会式出場の保育科生による談話、その堂々たる行進とそれぞれの動作、学校を挙げて笑顔一杯の前進を続けたいと思います。丘友会の皆様の御健勝を祈り、今後の御援護を伏願い申上げます。

三重県立亀山高等学校校舎整備計画図



年度	室名	延床面積㎡
45	普通教室	1,473
46	普通教室	1,404
47	生物教室	1,438
48	文書実務教室	2,624
49	技術室	3,935
50	保育実習室	837

(特)(別)(教)(室)　第二棟

―今年度中に完成―

教頭　菊田栄一

昭和四十五年に改築工事が始まって以来、家庭科においては、余儀なくされてきたプレハブ校舎での授業も、いよいよ来年度から近代的な設備の新校舎で行なわれることとなり夏は暑熱、冬は冷房と言われてきた教室での三年余りにわたる苦闘のあとだけに、喜びもひとしお深いものがあります。

以下、改築された校舎も含めて今後の整備計画を図示いたします。

なお、当県で国体の行なわれる昭和五十年を完成の目途に、一意専心努力する所存でありますので皆様方の絶大なるご協力を お願いいたします。

「亀山駅と高校総体」

副会長　森信夫

亀山は、江戸時代の延享元年、石川総慶が亀山城主となり、六万石の城下町として、また、東海道五十三次の宿場町として世に知られるようになったことは広く存知のことと思われる。

明治二十二年市町村制実施に際し、亀山町となり、更に昭和二十九年十月町村合併により亀山市となる。明治二十三年十二月二十五日に関西鉄道（株）の経営により四日市、草津間約七九・一キロメートルの物資が開通し、亀山にはじめて停車場が設けられた。これがいまの亀山駅で約八十三年の歴史を物語っている。続いて明治二十四年十二月四日参宮鉄道（株）によって、亀山、津間が開通し、以降亀山駅を中心に国鉄の要衝地として発展してきた。

昭和二十五年に国道一号線が当駅を中心に東西に新設されて、亀山駅前広場整備等に着手、約五年ほどかかって駅前広場を整備拡充し、現在の姿となった。また昭和三十四年七月に紀勢本線が開通し、亀山駅が起点となり、国鉄三重交通バスの発着駅となり、各地に通じ、更に名阪国道の開通により、中部圏と近畿圏を結ぶ交通の要所となり伊勢湾時代にふさわしい農・工・商業の調和のとれた住居都市づくりが進められ住宅団地、工業団地が各所に誕生し、郷土・亀山も答申してきたがみなさんにとって想い出深いのはなんと言っても母校・亀山高校でありつ。亀山の発展とともに亀山高校も増改築がなされ、最早、古い木造校舎は姿を消してしまった。

また、ことし八月には、インターハイの名で知られている「全国高等学校総合体育大会」が三重県下十三市町を主会場として盛大に開催されることになり、亀山では「ウエイトリフティング」（重量挙げ）が亀山高校体育館を会場に行なわれることとなった。競技種目である重量あげは我が国では比較的新しい種目であるが、思えば昭和三十九年、あの東京オリンピックでの輝かしい感激の日の丸掲揚は永久に忘れることのできない血潮の高鳴りを今更のように覚えるのである。亀山高校在校生にも優秀な重量あげの選手諸君が多くいると聞く。実に頼もしい限りであり、総体を機に亀高の名を全国に知らしめてほしいものである。

市の盛衰や高校総体など思いつくまま、筆を走らせ読みづらいことをおわびして、会員各位のご多幸とご健康をお祈りします。

総会のお知らせ

第十六回丘友会総会を次のごとく開きます。本年は本県中心に展開されるこの総体のこともあり、例年より夏休みも終りに計画しましたのでご出席いただくにも幾分涼しくなることと思います。なお、これをもって正式通知とし、各会員宛には案内状をさしあげませんのでご承知ください。

記

一、日　時　八月二十六日（日）午前十時
一、場　所　亀山高等学校給食室（新館）
一、協議事項　1、経過報告　2、会計報告　3、募金の件
一、映写会

寄付者名簿

（昭和47・6・1～48・5・31）

正会員の部

金一〇、〇〇〇円
高2　山崎郁一
高4（故千種一郎）千種米一
回相足なし　むかい
金五、〇〇〇円
女8　犬飼うたの
併中　坂下たか子
金三、〇〇〇円
女4　佐藤とめ
女9　杉田尊子
女11　広森好子
女21　長谷川しづ子
高4　奥山博
高6　無盤豊、上田郷子
高12　田村三衛生
高20　林和子
金二、五〇〇円
東代代、海山文子
金二、〇〇〇円
女10　小林しずゑ、森口しも
女20　駒田百合子
女26　大原友
高1　浅谷静子
高3　山口雅己
高4　稲毛千代子
高5　鈴木春子
高7　江藤尚
高11　小倉幸幸
高13　清水孝哉、岩田智子
高20　荒木しず子
高22　橋爪れい子
高23　山川春代
金一、〇〇〇円
女2　長谷川とめ、下村うた
女3　黒田よし子、平野きくゑ
田中たき
女8　川原林きぬ、田川みよ
女9　川口ちよ、堀本文子、伊藤みな、佐藤みつぐ、市川しづ
女10　伊藤せき、米川つた子、横山静江、中尾みし子、内愛子、林民子、市川愛子
高4　林春昇→若林昇
金一、〇〇〇円
旧5　横田園子→横田園子

〈注〉
1、略符号－女1は鈴鹿高等女学校第一回卒業生、高1は亀山高等学校第一回卒業を意味します。
2、氏名は順不同、敬称略。
3、氏名に○印がつけてあるのは前回の寄付者名簿の中に当然のっていなければならなかった方々です。発表漏れになったことを深くおわび致します。
4、できるだけ正確を期したつもりですが、何分、大勢のことですので、間違いがあるかもしれません。ご容赦ください。
5、卒業回数はできるだけ調べましたが、わからなかったものについては、先輩方に回不明としました。卒業年次、旧姓などお知らせください。

特別会員の部

母校現職員
金一〇、〇〇〇円
佐藤孔久
母校旧職員
金五、〇〇〇円
佐野勤

おわび

前回の寄付者名簿の中で誤りがあり、ご迷惑をおかけしました。次のように訂正します。
金五、〇〇〇円
高14　島内博子、桜井信夫
高15　幸野光代、近藤清夫、松村晴、中場義和、中尾章
高16　落合里美、佐野好子、春田紀子、塚本万春美、篠原福昌、村上芳久
高17　佐久間息子、森中幸美、岡部智子、坪田弘子、野間勉、豊田国彦、深津俊子、上田秀洋、井上初子
高18　川本和子、春田治男、池田芳美子、野内弘子
高19　今村れい子、楠井美代、今井亨惠子、伊藤まさ子、小林久枝、葛山しげ子、篠原祥雅、安藤知恵子、仲野久雄、小島五郎、中川敏生
高20　家城一美、松下初子、西川秀樹、金谷弘子、野内道子、上田亨尊
高21　池田恵美子、中山瑠美子、伊藤三重子
高22　山川芳生、奥本智子、八木淳夫、草川美恵子、山杉浦和子、小林一代、吉本つゆ子、栗本隆美、山川春尊子
高23　田口光代、野内真理子、上村美鈴、平野栄美、黒川順一
高24　山崎智子、中根鶴、野崎絳子、西川四朗、富井恵子
高1　川戸恵美子
高2　鈴木さくら子、浅野文子、杉浦和子、小林一代、吉川春尊子
高3　増村紀久夫、古川万亀子
鈴木秋男、真瀬清雅
高4　今井清太、井崎次男
高5　伊藤通、打田一郎、江藤石蔵、桜井武、宮下廸子
高6　○川村政敬、○金丸恭子
○日井一吉、○今井保、○駒田雅蔵、○福井孝文
○富田雅子、○駒田正己
○富田雅子、○紀平加代子、近藤知博、倉田明、駒田節子
高7　高木栄、久野若祐、榊昌子、市川仁美、山際平枝子、昭田英一
高8　小倉悦子、川北尊子、大橋延行、橋本スミ子、佐藤好弘、真田ひさ
高9　尾崎晶子、中西美佐子、駒田恵子、落合かなえ、早川香
高10　伊藤多和子、伊藤藤男、長岡一雄、渡辺俊子
高11　駒田ふみ子、田中辰男、中村琢子、野内雅子、近沢幸美、桜井和典
高12　市川まきへ、村山晶嶺、本田節子、野間勉子、野田中ひさ
高13　伊藤せき、米川つた子、横山静江、中尾みし子、内愛子、林民子、市川愛子
高14　島内博子、桜井信夫
高15　幸野光代、近藤清夫、松村晴、中場義和、中尾章
高16　落合里美、佐野好子、春田紀子、塚本万春美、篠原福昌、村上芳久
高17　佐久間息子、森中幸美、岡部智子、坪田弘子、野間勉、豊田国彦、深津俊子、上田秀洋、井上初子
高18　川本和子、春田治男、池田芳美子、野内弘子
高19　今村れい子、楠井美代、今井亨惠子、伊藤まさ子、小林久枝、葛山しげ子、篠原祥雅、安藤知恵子、仲野久雄、小島五郎、中川敏生
高20　家城一美、松下初子、西川秀樹、金谷弘子、野内道子、上田亨尊
高21　池田恵美子、中山瑠美子、伊藤三重子
高22　山川芳生、奥本智子、八木淳夫、草川美恵子、山杉浦和子、小林一代、吉本つゆ子、栗本隆美、山川春尊子
高23　田口光代、野内真理子、上村美鈴、平野栄美、黒川順一
高24　山崎智子、中根鶴、野崎絳子、西川四朗、富井恵子
定　○後藤忠生、後藤秀夫、後藤忠生、今村儀司、早川正和、新英雄、小島生太郎、小島孝義
回不明　松浦惠子、秋本海恵子、田中和子

編集後記

会報第八号をお届けいたします。母校の近況や運動クラブの目ざましい活躍ぶりなどはお知らせできますが、会員からの原稿が乗らなかったので、同じ学舎で机を並べ、あのグラウンドで走りまわった、あの消息をお伝えできなかったことが、何よりも残念なりません。

先日、用があって、久しぶりに母校に立ち寄ってみました。もう母校のどこにも、昔のおもかげがなく、近代的なテラックスな校舎が立ちならんでいました。

卒業以来、一度も母校を訪れたことのない会員もあるのではないでしょうか。総会には、ぜひお出掛け下さい。

職員異動

転出
秦輝彦（社）明野高校へ
小坂剛子（国）四日市高校へ
北脇田鶴代（家）同右へ
南晃（事務）四日市工業事務所へ
中根幸子（事務）四日市高校へ

転入
北原カツヲ（家）杉田悦子（家）高尾千鶴子（国）
増田憲一（社）浪方雅子（家）

新採

母校だより

県総体で健闘

ソフト 全国総体へ

重量挙げ、山岳部女子 女子剣道の葛西さんも

保体主任　高野　治

待望の全国高校総体が、八月一日より本県中心に展開されます。先の県総体で本校の女子運動クラブは、ソフトボールを始め、山岳部女子が県優勝の大業を成し、続いて女子バスケットボール三位、バレーボール四位、体操部四位、陸上競技七位、剣道五位、ハンドボール五位、バドミントン八位という好成績であった。個人では女子剣道の葛西光子さんが全国総体出場権を獲得した。男子クラブでは昨年あたりから新設された重量挙げがすい星の如く現れ、東海地区で優勝し、今一歩で全国大会に優勝と頑張っています。今年と五十年の国民体育大会にとこ亀山市の地に重量挙げの会場が設けられ全国津々浦々に亀山高校の名声がとどろく事と思います。次に全国大会に出場するチームのコーチの声と重量挙げのルールを簡単に記して亀高運動部の現状とします。

ソフトボール

六月三日よりインターハイ予選が松阪、津で行なわれたが、六月三日は、松阪で桑名西との試合、12－0でコールド勝ち、六月十日はまた松阪で、松高と4－0、高田と7－0と勝ち進みベスト4となり、六月十七日は津で、津女子高で四チームのリーグ戦が行なわれた。

第一試合は陸と1－0、第二試合は伊勢女子と9－2、第三試合は鳥羽と4－1でそれぞれ勝ち、堂々と三重県代表としての出場権を獲得しました。この日は、朝からの雨で試合が心配されましたが雨の中を強行しました。特に第二試合の伊勢女子とはのれまで勝ったり負けたりで危ない試合ではないかと思われたが、三年のピッチャー田中が左肩を折りながらも力投し、打ってはチーム全体がよく打ち快勝であった。

そして、これからいよいよ勝れの舞台であるインターハイですが、チーム全体、一、二、三年がチーム・ワークよくまとまって頑張っていきたいと思っております。インターハイの目標は、ただ全力を尽して最後まで勝ち進んで行くことだけです。

（木村　斉）

重量挙げ

① ウエイトリフティングの体重と階級

フライ級　五二kg迄　（松村　和夫　3年）
バンタム級　五六kg迄　（片岡　平　3年）
フェザー級　六〇kg迄　（西村　均　2年）
ライト級　六七・五kg迄　（鈴木　広志　3年）
ミドル級　七五kg迄　（松本　貴臣　3年）
ライト・ヘビー級　八二・五kg迄　（駒田　良美　3年）
ミドル・ヘビー級九〇kg迄　（本校出場者なし）

以上がインターハイの出場者です。尚、検量は各階級とも試合一時間十五分前に実施されます。

② バーベルについて

一本の鉄棒（シャフト）二〇㌔㌘止金一個で五㌔㌘シャフトの長さ一m二五㎝

最大円板二五㌔㌘をはじめ一五㌔㌘、一〇㌔㌘、五㌔㌘、二・五㌔㌘、一・二五㌔㌘と六種類の円板でそれぞれの重量が組まれます。例えば六五㌔㌘ならば一本のシャフトに左右二〇㌔㌘の円板が各一枚、それに止金一個となります。国内記録は全て二・五㌔㌘単位が最小単位となりますが、世界記録・ジュニア世界記録（満二〇才迄の記録）は〇・五㌔㌘単位が最小単位として記録が公認されます。

③ 試合用特別リングについて

全国大会には特別リングが必ず組まれますが、八メ又は一〇メ四方の広さがあり演ますそ。技のもの合（プラットホーム）は特別リング中央に位置しており、四メ四方の広さがあり、この舞台内の演技のみが有効とみなされます。

尚、特別リングの高さは所によって多少変わりますが九〇㌢～一メ一〇㌢くらいです。

④ ウエイトリフティングのあげ方

▼スナッチ競技　両手を広く握り一気に頭上引き挙げますが、バーベルが頭上より下にあるにかかわら子両手首を上にかえす事は反則となります。

▼ジャーク競技　両手によるさし挙げ競技といいますが、この競技は下でバーベルを胸で受け止め立ちあがり、全身の反動を用いて体重の二倍近くの重い重量を一気に頭上にさし挙げる競技です。反則としては反動をダブルに使用する事は出来ません。

⑤ スナッチ・ジャークに共通の反則

一端頭上に引き挙げられたバーベル又はさし上げられたバーベルが後方に落ちた時又は審の合図の前（タウン）にバーベルを前に落した時又バーベルを挙げ時両手を最後まで挙げていない場合は全て失敗とみなされます。尚、名前を呼ばれて三十秒内に試技をおこなわれます。各選手は練習場で体重を充分とのえて自分の名前の呼ばれる少し前に練習場から本会場迄走り込みますのでステージ横は緊張のようにに入り混れます。

総合順位の決定は各選手共スナッチ二回の内のベスト記録ジャークの二回のベスト記録を合計した記録で総合順位がきまりますが、同記録の場合は体重の軽い選手が上位になりますので、例えば同じライト級でも六七・五㌔㌘で検量をパスするよりは六七・四メ又は六五㌔㌘でパスするように目頃から毎朝物をやく排泄するようにかけます。又試合には体重の重い選手と同記録に持ち込み順位があがるように作戦をたてます。

最後に本校ウエイトリフティング部は創立四年目。昨年は最も体重の軽いフライ級上田稔君（現在中京大生）が堂々と頑張り別ジャーク優勝、個人総合優勝をなしとげましたが、今年は個人上位入賞者はねらいたく思いますが、特に学校団体総合上位入賞をめざし選手編成をしましたのでなんとして上位入賞が可能かどうかはわかりかねますが、東海総体総合優勝の名にはじ入ないように三千名の部員ともにインターハイ選手を送りあげたく思っていますので何卒よろしく御願いします。

（平岡一能）

亀高に鼓隊部誕生

本年の八月三重県下の各地で開催されます高校総体の表機として、本校にドラム隊が誕しました。編成はアルトドラム24、テナードラム12、バスドラム2、シンバル2、ドラムメジャーで、将来は母として文幼稚園の先生として自らリズム感覚の修得を目的に保育科一年生19名、三年生22名計41名の構成メンバーです。又、一年生も今年18名が入部し総勢59名の部員が練習に励んでいます。

八月一日から約一週間に亘って練習がはじまり、若人のスポーツの祭典八月一日午後一時から伊勢市県営陸上競技場で行われる総合開会式によって幕が落とされます。本校のドラム隊は昨年五月の部発足以来この総合開会式のマーチングショーに参加するため練習に練習を重ねてまいりました。マーチングショーというのは数人或は数百人の吹奏楽隊やドラム隊が曲を演奏しながら隊形を変化させ、整然とした動きと雄壮な演奏とで観客を魅了しようというものです。今回の演技には県下八つの高校から選抜された吹奏楽部員12名、バトン部員40名、カラーガード10名、それに亀山高校ドラム隊41名を加え総勢101名によってマーチングショーを行います。本校のドラム隊は他の吹奏楽隊に先だけて単独で入場し一万人近い観衆の前で演技を披露します。このマーチングショーは高校総体開会式始まって以来初めての試みで全国の音楽関係者から期待を寄せられております。

亀高の名に恥じないよう頑張りますので先輩諸兄姉の御声援をお願い致します。

（山崎俊彦）

育英資金募金のお願い

教頭　菊田栄一

酷暑の砌、ますますご健勝のこととおよろこび申し上げます。さて、本校教諭・中井弘先生には、去る三月二十一日未明、急に胸部の苦痛を訴えられ、わずか数分にして四十四歳の若さでご他界なさいました。この日は、前日高校合格の発表があったばかりのご長女を連れて、学用品などの買物に行かれるご予定だったそうであります。前日まで、校務に、とくに、三重県高体連山岳部長として奔走致されました中井先生の、あまりにも西走、連日超過勤務に活躍なさっていただけに、この訃報に耳を疑わない者はなく、まして、ご家族としてはまさに青天の霹靂とも申すべきものだったでしょう。

わずか数分にして突如一家の支柱を失い、十五歳のご長女をかしら三人の遺児とともに取り残された奥様のご胸中を察し申し上げるにつけ、故人と年前、公私にわたりお付き合いを願い、また、ご指導を賜わった者ともにとりましては、全くお痛めのことばもないような次第であります。

本校におきましては、故人のご功績をたたえ、かつまた御展の徴意を表わしたく、故人との関係の深い左記の方々に発起人をお願いして、遺児育英資金募金計画いたしました。兵庫会の皆様にもこの趣旨にご賛同下さいまして、ご協力を賜わりますよう心からお願い申し上げます。

発起人（順不同）

三重県立亀山高等学校　校長　佐藤　孔久
三重県立亀山高等学校　教頭　菊田　栄一
三重県立亀山高等学校　PTA会長　豆子　清一
三重県立亀山高等学校　同窓会長　藤永　正彦
津中学校同期会　幹事　長井源一郎

なお、ご賛同の向きは、お手数ながら、昭和四十八年八月一十日までに芳名とご厚志を亀山市本町・三重県立亀山高等学校内故中井弘氏育英資金募金委員会までお届けくださるようお願いいたします。

三重県立亀山高等学校	校長　佐藤　孔久
三重県立亀山高等学校	教頭　菊田　栄一
三重県立亀山高等学校	事務長　中井　弘
三重県立亀山高等学校	教務主任　今村　幸夫
三重県立亀山高等学校	生徒指導主任　吉田　友一
三重県立亀山高等学校	保体主任　高野　治
三重県立亀山高等学校	教諭　長谷川　寛
三重県立亀山高等学校	教諭　長谷川　英一
三重県立亀山高等学校	教諭　佐藤　孔久
三重県立亀山高等学校	教諭　葛山　博次
三重県立亀山高等学校	教諭　今村　幸夫
三重県立亀山高等学校	教諭　吉田　友一
三重県立亀山高等学校	教諭　田中　孝幸
三重県立亀山高等学校	教諭　竹田　晃
三重県立亀山高等学校	教諭　長井源一郎